

<資料>

2011(平成23)年度鳥取大学教員免許状更新講習実施状況

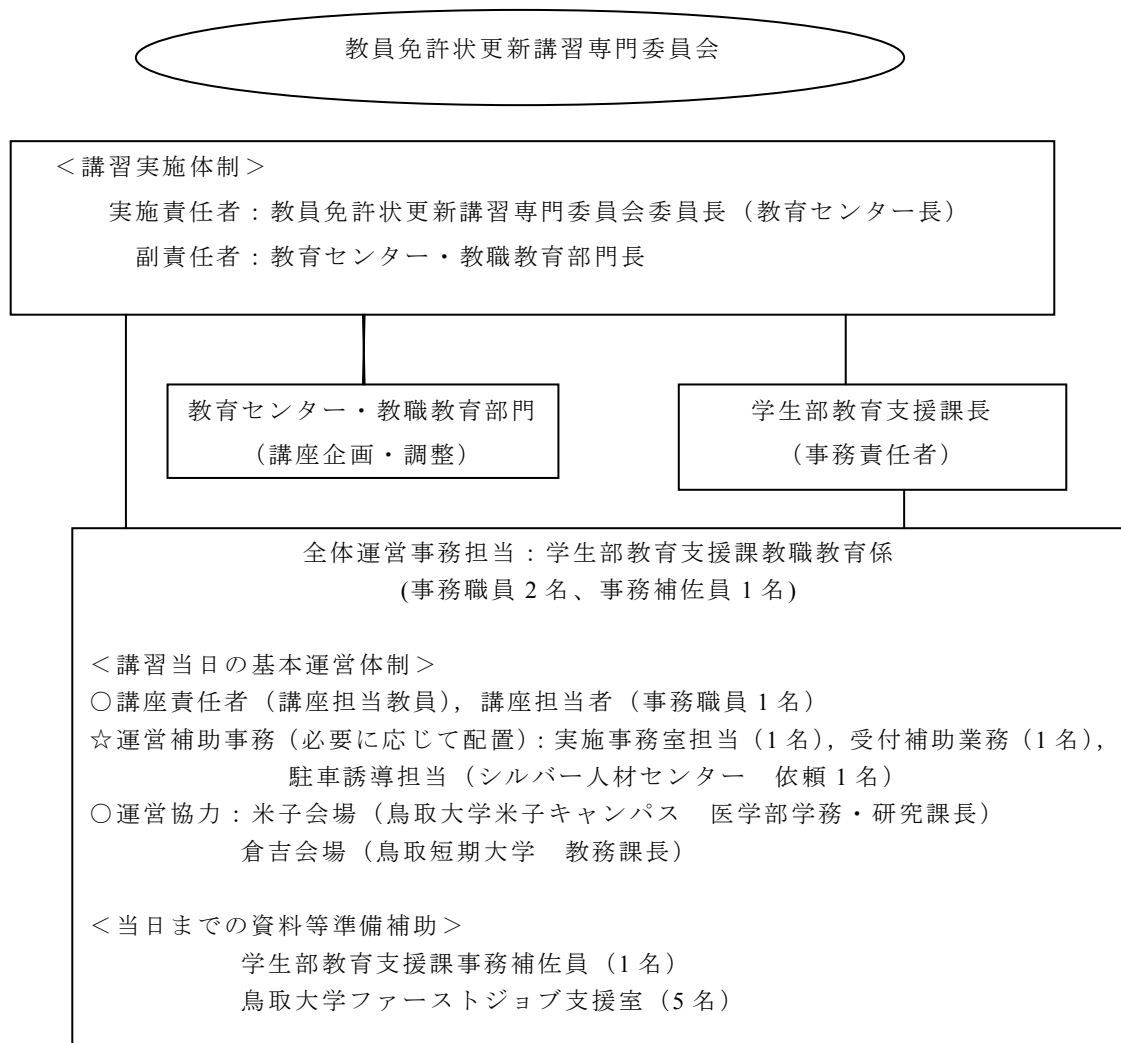
教職教育部門

はじめに

2010年4月の大学教育支援機構の組織改組により設置された教育センター・教職教育部門では、鳥取大学教員免許状更新講習の講座企画およびコーディネイトを、組織改組前(2009年度までは生涯教育総合センター・教職教育部門)の2008年度から担当してきている。ここでは、2011年度の更新講習の運営体制と受講状況等を取りまとめておく。

1. 運営・実施体制

鳥取大学では講習開設にあたり、予備講習実施(2008年度)より全学レベルの教員免許更新講習専門委員会を設置し、運営事務は学生部教育支援課教職教育係が担当している。実施体制等は昨年度とほぼ同じく次のとおりである。



2. 受講状況

2011年度は鳥取市（鳥取大学鳥取キャンパス）、米子市（鳥取大学米子キャンパス）、倉吉市（鳥取短期大学）の鳥取県内3会場で、必修4講座（昨年度比1講座増）、選択54講座（昨年度比13講座増）を開設した。全体の受講状況は表1のとおりであった。鳥取大学の特色としては、昨年度同様、地方国立大学であるが、隣接の兵庫県北部や島根県、岡山県など県外からの受講者が447人と、受講者数全体の17.25%を占めている点があげられる。なお、必修講座、選択講座別の受講状況は表2および表3のとおりである。

表1 更新講習受講者全体状況（単位：人）

必修・選択合計 (延人数)	受講定員	受講者数	左の内訳	
			県内	県外
		2,939	2,592	2,145

表2 受講状況（必修講座）（単位：人）

会場	講座の名称	講師	受講定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市 (7月)	教育の最新事情	河合務, 大谷直史, 小枝達也, 山根俊喜, 柿内真紀, 小椋孝昭	150	149	142	7
鳥取市 (8月)	教育の最新事情	児島明, 河合務, 高取憲一郎, 高橋千枝, 山根俊喜, 小林勝年, 小椋孝昭	200	199	161	38
鳥取市 (10月)	教育の最新事情	大谷直史, 河合務, 寺川志奈子, 高橋千枝, 塩野谷斉, 奥野隆一, 小林勝年	200	147	114	33
倉吉市 (11月)	教育の最新事情	大谷直史, 児島明, 高取憲一郎, 高橋千枝, 塩野谷斉, 奥野隆一, 柿内真紀	150	129	116	13
		(受講者合計)	700	624	533	91

表3 受講状況(選択講座)(単位:人)

会場	講座の名称	講師	受講定員	受講者数	左の内訳	
					県内受講者数	県外受講者数
鳥取市	日本経済をいかに再生するか	藤田安一	50	49	39	10
米子市	生命科学・再生医学のトピックス	竹内 隆	40	39	35	4
鳥取市	交錯する「自己」と「他者」－教育・歴史認識を通して－	一盛 真	100	99	84	15
鳥取市	新しいものづくり・技術教育の理論と実践	土井康作	20	20	20	0
米子市	交錯する「自己」と「他者」－教育・歴史認識を通して－	一盛 真	100	76	60	16
米子市	微生物と人間生活	會見忠則	100	86	67	19
鳥取市	宮沢賢治と音楽	新倉 健	40	40	34	6
鳥取市	鳥取砂丘の教育活用をめざして(地理・地学編)	小玉芳敬	20	20	17	3
鳥取市	考古学と関連諸科学による歴史復元	高田健一	40	39	28	11
鳥取市	微生物と人間生活	會見忠則	100	98	68	30
鳥取市	社会学入門－社会を構造的に捉えること－	仲野 誠	40	40	37	3
米子市	社会を動かすシステム(人口減少・高齢社会の最前線)	谷本圭志	40	40	39	1
鳥取市	新しい中学校理科の理論と実践	高橋ちぐさ	30	15	14	1
鳥取市	新しい美術教育の理論と実践	喜久山 悟	20	20	14	6
鳥取市	流れと熱の世界	川添博光	60	34	25	9
米子市	神話の東西の流れ－因幡のシロウサギ神話関連－	門田眞知子	30	29	26	3
鳥取市	「日本語」の形成	榎木久薫	40	40	29	11
米子市	基礎から分かる昆虫学	中 秀司	50	49	46	3
鳥取市	手書き文字の歴史と文化	住川英明	30	30	21	9
鳥取市	新しい数学教育の理論と実践－教材開発と授業構成－	矢部敏昭	40	35	24	11
鳥取市	歌う楽しみ, コーラスする喜び	西岡千秋	40	39	31	8
米子市	地球環境問題と森林生態系	佐野淳之	40	40	35	5

鳥取市	社寺林から学ぶ地域の自然	永松 大	20	20	15	5
米子市	新しい数学教育の理論と実践	溝口達也	40	34	26	8
鳥取市	算数教育の教材作り	溝口達也	40	40	28	12
米子市	教員が知っておきたい生徒の健康：とっさの時の対応と心肺蘇生法の新しい教育法の紹介	本間正人	50	50	48	2
米子市	児童生徒の心身の発達と諸問題，その支援・カウンセリング	前田隆子	50	50	46	4
鳥取市	新しい国語科の教材づくり（中学・高校編）	小笠原 拓	40	21	18	3
鳥取市	フランスにおける国家と宗教の関係史	柳原邦光	40	10	5	5
鳥取市	難読英語文献を読む	吉村伸夫	10	3	3	0
米子市	新しい国語科の授業づくり（小学校編）	小笠原 拓	40	40	39	1
米子市	新しい算数教育の理論と実践 －教材開発と授業構成－	矢部敏昭	40	40	38	2
鳥取市	言葉とコンピューター	村田真樹	20	20	20	0
鳥取市	ことばと論理	田畑博敏	40	39	33	6
鳥取市	異文化コミュニケーション	筏津成一	40	40	34	6
米子市	からだきづき・からだほぐし	佐分利育代	40	39	39	0
倉吉市	特別支援教育におけるライフステージに応じた生涯発達支援～乳幼児期と青年期に注目して～	國本真吾	30	30	28	2
鳥取市	新しい家庭科教育の理論と実践	福田恵子	20	20	19	1
鳥取市	新しい音楽教育の理論と実践 (幼・小)	小川容子	20	20	14	6
倉吉市	小学校外国語活動の理論と実践	川口康子	40	38	37	1
鳥取市	英語の歴史と英国の地名	福元広二	30	28	19	9
鳥取市	竹取物語と竹取説話	田中 仁	30	18	7	11
鳥取市	「善行」の行方－近世・近代の地域と民衆像－	岸本 覚	40	21	11	10
倉吉市	地域と学校における健康と体力 －楽しく走る・歩く－	関 耕二	40	40	36	4
米子市	読字障害児の理解と指導	関 あゆみ	30	30	29	1
鳥取市	憲法再入門	中村英樹	50	47	30	17

米子市	思春期の身体発育をめぐって	松本健治	30	30	29	1
米子市	新しい英語教育の理論と実践	足立和美	30	28	16	12
鳥取市	迫りくる財政破綻	藤田安一	50	18	10	8
倉吉市	自然の中の遊びを教育・保育現場に生かそう～体験学習法を用いて～	近藤 剛	24	22	20	2
倉吉市	食育と栄養	野津あきこ	40	40	39	1
鳥取市	地域福祉の推進と学校の役割	竹川俊夫	40	39	35	4
鳥取市	粘土の造形	石谷孝二	15	15	14	1
鳥取市	地域学入門	柳原邦光	100	61	34	27
	(受講者合計)		2,239	1,968	1,612	356

3. 今後の講習運営に向けて

2011年度の講習運営を振り返り、講習運営に関して、効果のあった点、困難があった点、および今後の検討課題を簡単にとりまとめておく。

(1) 運営上の効果があった点

- ・必修講座会場を、昨年度に引き続き、東部地区（鳥取市）・西部地区（米子市）・中部地区の倉吉市（鳥取短期大学）で開設し、地理的バランスがとれた。また、受講見込み数に合わせて東部地区で今年度は1講座増設し、計4講座を開設することによって、需要に応えることができた。
- ・選択5講座開設し、昨年度より13講座増やし、受講人数の少ない講習もあったが、概ね受講者からの評判もよく、需要に応えることができた。
- ・昨年度の効果をもとに、同じく教育支援課全体で事務運営等を実施したので、運営に余裕をもつことができた。
- ・今年度も視覚障害者の受講を受け入れる（1名）ことになり、事前打ち合わせ等を詳細に行い、必修1講座を無事終了することができた。運営にあたっては、今年度も文部科学省に対して、教員講習開設事業費等補助金（免許状更新講習障害者支援事業）の申請をおこない、活用した。
- ・ファーストジョブ支援室（昨年度から鳥取大学に設置された附属特別支援学校卒業生を含む障がい者雇用の一環）のスタッフに、今年度も資料印刷および資料セット作業を依頼し、学内の互恵的な協力体制がとれた。
- ・貸出用ざぶとんを準備し、教室の座席等の環境改善に一定の効果があった。

(2) 運営上の困難があった点

- ・受講生数と講義室の広さ（座席数）が比例しない講習があった。

(時期によっては講義室確保や調整が難しい場合があるため。)

- ・教室外で行う講習の期日設定(季節や天候との兼ね合い)が難しかった。
- ・9月に台風が接近し、2講習の開催日を延期した。延期決定がぎりぎりになり、全受講者への連絡完了までに時間がかかった。

(3) 今後検討が必要な点

- ・講習中の緊急時対応(特に休日に急病人が出た場合)の速やかな対応が必要である。
(今のところ事前に鳥取県救急医療情報(宿日直医情報)の把握し対応している。平日は学内の保健管理センターで対応できる。)
- ・学内の大きなイベントと講習が重なった場合や、米子キャンパス(医学部)で講習をおこなう際(特に平日)の駐車スペース確保を検討する必要がある。
- ・受講者が多い講習は、休憩時間が不足する場合がある(たとえばトイレ等)ので、来年度は時間割の見直しを行う必要がある。
- ・米子キャンパス(医学部)の場合、幹線道路を挟んでキャンパスが分かれているため、受付場所がわからずに迷う受講者が少数ではあるが、引き続き周知方法を検討する必要がある。
- ・米子市、倉吉市での講座数をさらに増やすことを受講者から要望されている。